

NITS オンライン動画視聴後の「振り返りシート」(校内研修シリーズ)

No135

「特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育～通常の学級における指導の在り方:理論と実践～」

Step.1

(1) 支援を要する子供たちに向けての基本的な考え方（二つ）はどのように説明されていたでしょうか。

○「障害名」から安易に子供を見ることは避ける。あくまでも子供が示す「困難さの状態」を捉え、その子供に合った具体的な配慮や手立てを講じていく。

○ユニバーサルデザインの考え方による手立てと個別の具体的な支援の両者を重視する。

(2) 支援を要する子供たちに対する教師の在り方として求められる姿勢はどのように説明されていたでしょうか。

最も困っているのは子供であるという認識を持ち、子供を突き放したりせずに、どうしてほしいかを聞き取り、共によりよい手立てを見つけるように努めること。

(3) 道徳科の授業に当たって、支援を要する子供たちに対する具体的な支援を行う場合に留意することはどのように説明されていたでしょうか。

個別の支援に際しては、本人の思いを考慮することが大切。自尊心を傷つけたり、意欲を失くしたりすることのないように配慮する。事前に学習方法などについて本人と話し合うことが望ましい。

Step2

下記の内容について、グループで検討したり、指導例を持ち寄って再検討したりしてみましょう。

- ① 通常の学級における支援を要する子供たちの実態について
- ② 支援を要する子供たちに向けた道徳科授業に対する教員の意識について
- ③ 支援を要する子供たちに向けた道徳科授業での実際の取組について